

J A はだの

発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 ㈱JA情報サービス



今の特集 4~5面

100歳までいきいき過ごそう
JAはだのは、組合員の健康的な生活をサポートしている。「JA健康寿命100歳プロジェクト」で健康教室を開き、健康診断を受けやすい体制を整える。

秋の座談会に出席を

10月2~13日に78会場で秋の座談会を10月2日 市内78会場で開催します。(月)~13日(金)に、す。

2023年度上半期の活動などを報告します。組合員の意見・要望を今後のJA運営に反映させるため、1人でも多くの出席をお願いします。



落花生の脱粒を体験する参加者

秋晴れに落花生掘り満喫

本町支所運営委員会は9日、南支所運営委員会は10日に、管内の農家と連携して落花生の収穫体験会を開いた。地域住民らに秦野の特産である落花生の掘り取りを楽しんでもらうことで、地域農業への理解を促すこと



ともに、相互の交流を深めた。南支所運営委員会は、若手農家の高橋勇太さんの協力で開催。立野台の畑で10組30人が、落花生「郷の香」の掘り取りを満喫した。委員は、今年の作物や品種の特徴、お薦めの食べ方などを伝えながら作業を手伝い、参加者と交流した。

10月から午後5時閉店

じばさんず 営業時間変更

じばさんずは10月1日(日)から2024年2月29日(木)まで、閉店時間を午後5時に変更します。冬期間の営業時間を新たに設定し、10月1日から2月末日までの営業時間を午

前9時~午後5時にします。3月1日から9月30日の間は、これまで通り午前9時~午後6時に営業します。皆さまのご理解をお願いします。

J A にじ管内復興に協力

義援金贈り支援隊を派遣



復興支援隊の作業に参加したJAはだの職員

JAはだのと「友好JA協定」災害時相互支援に関する協定」を結ぶ福岡県JAにじ管内が、集中豪雨によって甚大な被害を受けた。それを受け14日、宮永均組合長がJAにじを訪問し、義援金を贈呈。さらに19、20の両日には、災害復興支援隊として役員4人を派遣し、堆積した土石などの除去作業に協力した。JAにじ管内の久留米市田丸地区は、7月10日の豪雨で、多数の地域で土砂崩れや土石流が発生。家屋が土砂に巻き込まれる被害に遭い、死者も出る大災害となった。

青パイヤお待たせ 公園近くに植えPR

青パイヤ研究会は1日、今年の新パイヤの販売をスタートした。じばさんずと連携して売場に見板を設置し、店内広告(POP)で食べ方を紹介。レシモも配布し、消費者が手に取りやすいよう工夫している。出荷は11月中旬まで続く見込み。

多くの、倒壊した家屋部材や流れ込んだ土石がいままだに堆積したままの地域も多い。JAはだのは復興に協力しようと、役員から集めた支援募金を含めた義援金を用意。宮永組合長がJAにじ本店を訪ね、右田英訓組合長に手渡した。さらに、JAグループ福岡の職員らで構成する復興支援隊にJAはだの役員も加わり、被災現場で2日間わたって作業。植木農家の圃場(ほじょう)に流れ込んだ土砂をかき出して搬出するなど、復興作業に汗を流した。



青パイヤを出荷する沼田会長

研究会は、18人が合計76㏎で青パイヤを栽培。出荷時に貼るオリジナルシールやPR看板を製作し、認知度向上に取り組んでいる。今年初めてNITT沼田良雄会長は「秦野産の青パイヤを多くの人に食べてもらいたい。認知度が広がり、生産が追い付かないほど需要が高まってほしい」と話した。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

市長に青パイヤ贈る

栽培3年目 市民へのPRを要望



高橋市長(左)に青パイヤを贈呈

青パイヤ研究会は1日、秦野市役所を訪れ、高橋市長に青パイヤを贈呈した。市内での栽培が始まって3年目を迎え、特産化を目指している品目。沼田良雄会長ら4人が手渡し、市民へのPRを要望した。

給食に供給し好評

沼田会長らは、高橋市長に今年の栽培状況を報告。今年は生育期に雨が少なく、株や実の大きさがこれまでよりも小さくなっていくことを伝え、市内でも、山あいや平地など、地域によって生育状況が異なることも話した。さらに、昨年は女性部と連携してレシピ集を作ったことや、小学校給食の食材として提供したところ、児童が興味を持ち、家庭で栽培に挑戦していることなども説明。鳥獣による被害で耕

作放棄地となってしまう農地の活用にも役立つことを話した。高橋市長は「鳥獣被害を受けにくい青パイヤは、農業振興につながる作物として期待している。これからも栽培に励んでもらいたい」とエールを送った。

生産組合で農機整備講習会開きメンテナ

講習会開きメンテナ

J A はだの、農作業安全確認運動の実施時期に合わせて、農業機械整備講習会を開いている。11日には、養毛運動公園で養毛地区の生産組合を対象に開催した。組合員7人が12台の機械を持ち寄り、農業機械センター職員がメンテナ



メンテナ方法を指導した。職員は「自分たちにも広がったらうれしい。市にもPRしてもらい多くの市民に食べてもらいたい」と話した。

優秀賞 三嶽稔・郷の香(本町) 清水正夫・郷の香(鶴巻南) 優良賞 高橋仁志・郷の香・改良半立(下大槻) 第34回秦野市落花生立毛共進会を8月17日と9月6日に、市内圃場(ほじょう)と本所農業団地センターで開いた。審査の結果は次の通り。

水稲収穫は適期に

高品質へ現地検討会で周知

J A はだの7日、鶴巻と東田原の水田で水稲収穫適期現地検討会を開いた。参加した米の生産者35人に、収穫適期や注意すべき雑草などについて伝えた。



現地検討会で稲の生育状況を確認

県農業技術センターの職員が、今年の気象や生育状況を解説した。記録的な猛暑が続く、例年より平均気温が高いため、収穫期が早まることを周知。適期収穫の徹底が、品質向上につながることを説明した。収穫適期の最終判断の目安となる黄化割合の見極め方法についても実演した。

JAグリーンは農家を応援します

タマネギ栽培関連資材キャンペーン

J A グリーンはだの10月7日(土)~15日(日)、タマネギ栽培関連の資材キャンペーンを実施します。農薬や肥料、マルチなどを特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。



農薬や肥料などを特別価格で販売

お問い合わせは J A グリーンはだのまで。☎81-7719

わしい雑草を見つけたら、抜いたり持って帰ったりせず、J A や同センターに連絡するよう呼びかけた。参加者は、稲の生育状況を確認しながら、今後の栽培管理について意見を交わした。

営農技術 ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (鳥田・加藤)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

- 果樹花き課 果樹(笹屋)・作物加工課 作物(楡垣)
- 花き(青木) 加工(木下)
- 野菜課 (草野)



鳥獣害

電気柵の適切な設置と維持管理

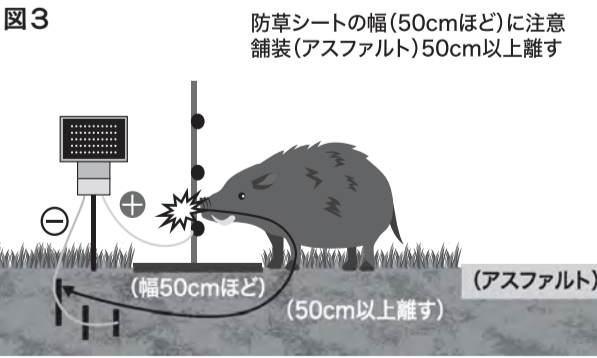
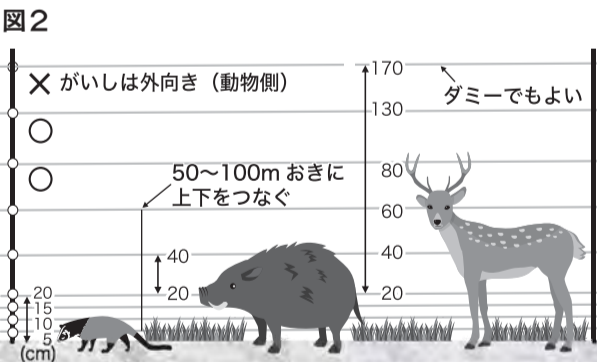
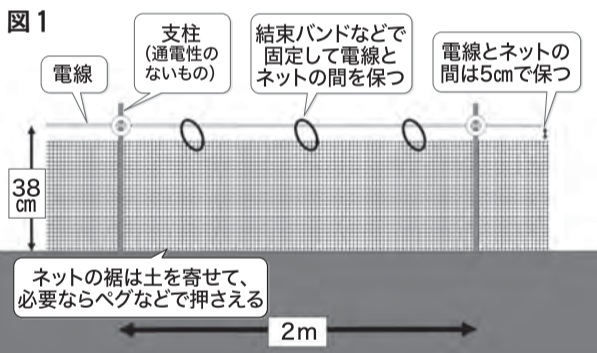
皆さん、電気柵を正しく張っていますか?

電気柵は、動物が探査行動をする際に、鼻先で物に触れる習性を利用して柵です。電線に触れた際に感電させて痛みを経験することで、恐怖心を学習させ、柵内への侵入を防ぐものです。

動物の体表は分厚い皮行動をせず、圃場(ほじ

ろ)の向きにも注意が必要

以上必要です。電圧は本



皮膚と体毛に覆われているため、体が電線に触れても感電することはありません。また、電圧が弱いと鼻先で触れても十分に感電せず、効果がありません。動物が初めて電気柵に触れた際に、設置方法が間違っていたり、電圧が不十分だったりすると、痛みを経験しないため、しっかりと探査行動をとり、十分に効果を得られません(イ)。

シンの場合、20と40の

設置の高さで2段の電線を張

る。市内で被害の多い

中型動物も、電気柵で防

動物が押し倒して、そこから侵入する可能性があります。

電気柵のそれぞれの段

を50~100cmおきにつ

ないでください。これに

より断線や漏電している

体の性能、電線の劣化、漏電、湿度、アース不足などさまざまな要因で増減するため、電圧チェッカーで定期的に確認し、適切に保てるよう管理しましょう。

雑草などが電線に触れていると、漏電の原因になります。漏電すると電圧が落ちて電気柵の効果が損なわれるので、定期的に草刈りをしましょう。特に中型動物用の高さで張ると漏電が起きやすいため、小さな管理が必要で、防草シートを使えば草刈りの手間が省けます。ただし、動物の両肢が防草シートに触れていると、うまく電気が流れないため、シートの幅に注意して設置しましょう(図3)。

フードライブに154点寄付

米、菓子、乾物 など持ち寄る 食品ロス削減に

女性部は7日、秦野市保健福祉センターを訪れ、市社会福祉協議会が行うフードライブ（食品の寄付）に協力した。持続可能な開発目標（SDGs）の一環として取り組んでいるもの。櫛田真弓部長ら本部役員が、梶山孝夫事務局長に食品154点を渡した。



同部は、2020年から毎年フードの「フードバンクかながわ」や、市で開くフードライブを実施している。これまで横浜市 催した「はだの」にごに「フードマーケット」などに食品を提供してきた。各家庭で余った食品を活用することで、食品ロスの削減にもつなげている。

集まった食品を寄付

同部は、8月の支部会で食品の寄付を呼びかけた。協力する部員が各支所に持ち寄り、米や菓子、乾物などが集まった。食品は生活に困窮している家庭や子ども食堂などに提供される。

2日(月)	13:30~料理サポーター運営委員会
3日(火)	9:30~農業まつり運営委員会
5日(木)	13:30~本部役員会
12日(木)	9:00~女性部運動会(雨天6日)
13日(金)	13:00~支部会(大根)
17日(火)	13:30~支部会(本町・南)
19日(木)	14:30~大根支部「廃油せっけん作り」
20日(金)	9:00~支部会(西)
30日(月)	10:30~西支部「エークック料理教室」
31日(火)	13:30~支部会(東・北・上)
	10:00~第4回フレッシュミズ講座
	8:30~南支部「支部旅行」
	10:00~JAはだの家の光クッキングフェスタ
	13:30~東支部「青パイヤ料理教室」
	13:30~本町支部「お茶飲み交流会」

ふるさとの味を次世代へ

料理教室や SNSで発信

女性部は、次世代にふるさと料理の伝統料理を継承し、ふるさとの味を伝える活動に力を入れている。市内の幼稚園やこども園に通う園児の保護者も対象に「ふるさと料理教室」を開催。伝統料理のレシピ本やSNSなどでも活用し、地域で大切にされている食文化を伝える。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、04年から開催している。部員が講師となり、園児の保護者と交流しながら伝統料理を指導。レシピ本に掲載された内容を基におやき、そば、かりんとう、太巻きなどの作り方を教えてきた。

4日には、鶴巻公民館で教室を開いた。市立つるまきこども園の園児の母親5人が参加。小豆あん、落花生あん、シューマイの3種類を包んだ。「蒸しまんじゅう」を作った。講師を務めた伊藤久恵さんと石井理代さんが、調理手順を説明。十

五夜に月見まんじゅうなどとして地域で古くから作られてきた食文化を伝えながら、参加者と交流を深めた。

支部分より
コケ玉作り
西支部の部員ら10人は10日、西支部でコケ玉を作った。コケ玉作りが得意な加藤菊恵副支部長が発案し、女性部で初めて開催した。

部員らは、加藤副支部長から作り方や手入れ方法を教わった後、コケ玉作りに挑戦。土と水を混ぜ合わせてボール状に成形し、中心にくぼみを作って植物の根元を包み込んでオリジナルのコケ玉を完成させた。

北支部
救命講習会と防災グッズ作り
北支部は8日、北支部で「救命講習会と防災グッズ作り教室」を開いた。JA横浜の女性部員で、応急手当指導員の資格を持つ川邊智子さんを講師に招き、

支部分より
コケ玉作り
西支部の部員ら10人は10日、西支部でコケ玉を作った。コケ玉作りが得意な加藤菊恵副支部長が発案し、女性部で初めて開催した。

支部分より
コケ玉作り
西支部の部員ら10人は10日、西支部でコケ玉を作った。コケ玉作りが得意な加藤菊恵副支部長が発案し、女性部で初めて開催した。

支部分より
コケ玉作り
西支部の部員ら10人は10日、西支部でコケ玉を作った。コケ玉作りが得意な加藤菊恵副支部長が発案し、女性部で初めて開催した。

支部分より
コケ玉作り
西支部の部員ら10人は10日、西支部でコケ玉を作った。コケ玉作りが得意な加藤菊恵副支部長が発案し、女性部で初めて開催した。

支部分より
コケ玉作り
西支部の部員ら10人は10日、西支部でコケ玉を作った。コケ玉作りが得意な加藤菊恵副支部長が発案し、女性部で初めて開催した。



伊藤さん(左)から包み方を教わる参加者

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

5055女性部活動

小物作り「衣裕」

代表 飯島 由利子さん

私たちのグループは、針仕事の好きな人や、小物作りに興味を持つ人が集まり、それぞれ思い思いに作品を作り上げています。講師の方をお迎えせずに、作りたいものを自分たちで決めていきます。ちりめんやつむぎ、かすりの和布を使い、季節のお飾りの他、時にはアークセラーなどをみんなで試行錯誤しながらも和気あいあいと作っています。

作品は一人一人の個性を大切にしているの、アレンジも自由です。完成した作品を前に、作り方の工夫や色のバランス、配置などに気付きがあったら次の創作につなげていきます。

月に2回、本所の農業団地センター2階または3階で活動しています。興味がある方の見学、ご参加をお待ちしています。

部員11人が、防災時に役立つ道具作りや救命処置について学んだ。部員は「ツナ缶ランプ」や「新聞紙スリッパ」など、身近なもので簡単にできる防災グッズを作った。その後、マネキンを使った救命処置を体験。処置の手順やAED(自動体外式除細動器)の使い方などを学んだ他、胸骨圧迫のポイントなども教わった。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。

同部は、2008年に秦野の郷土料理や季節ごとの行事食などを掲載したレシピ本「伝えたはだのふるさと料理」を製作。近年では、コミュニティウェブサイトに「クックパッド」にもレシピの掲載を始めた。部員ら6人が、設置の仕方や管理する上での注意点を学んだ。



「丹沢レッド」の生育を確認する尾澤さん

希少「丹沢レッド」栽培苦労も懸命に 甘さで勝負だ

果樹部会キウイフルー... 丹沢レッドは糖度18〜20になる甘さが特徴で、育ててきたが、病害の影響を受け、昨年の出荷量は1トンに満たなかった。...

観光農業へ理解深め 組合員講座受講生が体験

J Aはだの5日、組カリキュラムで、落花生合員基礎講座の第4回のの掘り取り体験会を開いた。...



落花生掘り取りに汗を流した。山口さんらも参加した。...

腸活で免疫力アップ 大会でストレッチ学ぶ



椅子に座ってできるストレッチを学習

J Aはだの8月29日、た。女性部や青年部、生産部で健康福祉大会を開き、組合員1503人が参加した。...

健康チェックで体脂肪率を測定

市内で新たに生産している青パイアは、栄養価が高く、健康に良いスーパーフードとして注目される。...

消化・吸収・代謝助け

イタカロンなどを豊富に含んでいる。青パイアは、ダイコンと同じようなレシピで気軽に使える野菜だ。...



高橋勇太さんが協力。児童が収穫した落花生を調理法を記載したレシピの他、J Aが加工・販売するゆで落花生「うでピー」を試食用として持ち帰った。...

100歳までいきいき過ごそう

女性部が支部ごとに教室 食事見直す機会にも

健康

年に1回は健診受けよう

J Aはだの、健診受診率向上運動をサポートしている。動に取り組み、年1回は健康診断を受けるよう組合員らに呼びかけている。...

13日には、本町支部が支所の佐藤喜子氏が、免疫力を上げるための生活習慣を解説。...



免疫力を上げる食事を学んだ健康講話

J Aはだの、9の両日、生産組合長視察研修会を開いた。相互の親睦を図るとともに、組織の活性化につなげることを狙い。...

発見 柳川

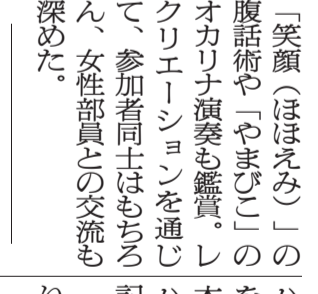
技術で健康に貢献



柳川で「クラフト・エム」を営む磯崎勝さん。藤沢市で生まれ育ち「他の人がやっていたような仕事を挑戦してみたい」と考え、歯科技工士になることを決意。...

若い頃は、ドクターからの難しい依頼が多く、対応に苦労しました。歯は日々の生活に関わるものなので、満足してもらえなければ、健康に気を付け、息子と協力しながら仕事を続けるように、多くの経

3支所でお茶飲み交流会 高齢者がピンゴなど楽しむ



北支所は8月25日、大根支所は9月14日、東支所は9月15日、各支所や公民館でお茶飲み交流会を開いた。...

柳川の磯崎 勝さん(68)

「業務内容は？ 歯科のドクターから依頼された患者用の入れ歯や歯の被せ物、矯正装置などの作製や加工修理をしています。患者によって口の大きさや歯の形はそれぞれ異なるので、精緻な技術が必要な仕事です。苦勞したことは、新たな家族になつてくれる方を探して

今後の展望は？ これからも患者の健康的な生活に貢献できるように、私自身も健康に気を付け、息子と協力しながら仕事を続けるように、多くの経

「笑顔(ほほえみ)」の腹話術や「やまびこ」のオカリナ演奏も鑑賞。レクリエーションを通じて、参加者同士はもう一人、女性部員との交流も深めた。

組合員ゴルフ大会 優勝は高木進さん

J Aはだの4日、大根支所は9月14日、東支所は9月15日、各支所や公民館でお茶飲み交流会を開いた。...

競技は新ペリア方式で優勝した高木さん

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
馴染たる此の眼鏡や秋彼岸

吉田 清美(渋 沢)
ちよい飲み秋分の日シンプイス

菊池としえ(菩 提)
秋彼岸三日をあげず救急車

志賀 明子(千 村)
秋分や西方極楽浄土かな

櫻庭 義昭(室 町)
雨去りてさわさ梢を秋の風

高見 清(北矢名 植田 忠克(尾 尻)
二胡の音の風に混じりて秋に入る

石原 松枝(渋 沢)
秋分の日遠き山より紫に

石田 陽子(ひばりヶ丘)
太陽光パネル彼処にひかる秋茜

柳川みち子(栄 町)
暮れなすむ路地の叢ちる鳴く

佐藤英美子(南矢名)
地球存亡秋分の日深呼吸

森高 由子(渋 沢)
七十坂人を恋ひをり虫の声

高島美和子(名古屋 選者)
コーヒーの渦の螺旋や晩夏光

富男(選)
秋分の日汐干の砂の踏めば鳴る

石田(不詳)(水神町)
〈短歌〉(久保寺 富男 選)

評 歌の意味は明瞭、ようやく日常に戻った安堵感がでています。今月は、すべての作品に多少の添削をしました。

細田 富士(千 村)
摘果の手止めてのびぬその一生

八木 実(鶴巻北)
みかんづくりに打ち込みし母を

人形館 安居院輝雄(上大槻)
竹田一座を伝ふる糸繰り

大木かずひろ(名古屋)
両手と口で命吹き込む

八木 実(鶴巻北)
故郷の便り開けば目が見えぬと

大木かずひろ(名古屋)
叔母はたとごと日々を告げきぬ

今井 かめ(羽 根)
玄関に犬のせり孫曾孫

今井 かめ(羽 根)
来しかと思ふ煙草祭の近し

選者 児等植えしバケツ稲田にこの朝は
秋の女神の真珠かがやく

西支所 新店舗の営業始まる

10月10日にATM増設も

西支所の新店舗が完成し、19日から新しく営業がスタートしました。新店舗の窓口は、全てローカウンターで仕切りを備え付け、来店者のプライバシーに配慮してまいります。組合員や利用者のさまざまな相談に対応できるように、相談ブースを3カ所設置しました。さらに、再生可能エネルギー活用のため、屋根と正面側外壁には太陽光パネルを設置し、床などの建材にも、環境に優しい素材を使っています。

店舗の解体工事中で、西給油所側の入り口からはお問い合せは西支所まで。☎88-00004

秋の農作業安全に

10月31日まで確認運動

JAはだのは現在、秋の農繁期の事故撲滅に向け、本所と各支所に農作業安全標語を記載した看板を設置しています。運動期間は10月31日(火)まで。期間中は、来所者により、農作業中の傷害事故が全国的に増加傾向にあります。市内では昨年度25件、今年度は7

結婚相談日
10月10日(火)
時間 午前9時～正午
事前に電話でご予約をお願いします。先着4人ですのでお受けできない場合があります。
ご予約・お問い合わせは組織教育課 ☎81-7714

税務相談日 10月10日(火)
午前9時30分～
法務相談日 10月20日(金)
午後1時30分～
場所 本町支所
予約制です。事前にお電話でご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。ご予約は協同コンサルトはだの ☎81-2329

秋の農作業安全確認運動実施中
農薬は正しい基準で安全散布
JAはだの
農作業安全標語で注意を促す看板

車両が進入できません。秦野市消防署西分署側の国道246号からお越しください。グラントオーブンは2024年1月の予定です。

おめでとございます。末永くお元気で過ごしてください。

- 88歳(米寿) 本町地区Ⅲ 橋俊彦
- 77歳(喜寿) 大根地区Ⅱ 高橋脩
- 南矢名) 本町地区Ⅰ 北川洋子
- (上大槻) 北地区Ⅱ 山口國雄
- (横野) 二寸木チエ子(渋 沢)
- 西地区Ⅱ 石井弘之
- (弥生町) 上地区Ⅱ 守屋悦子
- (柳川) 自己申告です。

新ショウガの肉巻き

西支部 富田 純子さん



材料2人分
豚ロース肉(しゃぶしゃぶ用)150g、新ショウガの甘酢漬け80g、A(新ショウガの甘酢漬けの汁大さじ2、しょうゆ・みりん各大さじ1)、ごま油小さじ2

- ①新ショウガの甘酢漬けを肉の枚数に合わせ、等分に分けておく。
- ②豚肉を広げて①を積み重ねるように手前に置き、豚肉で包むようにくるくると巻く。
- ③フライパンにごま油を入れて中火で熱し、肉の巻き終わり部分を下にして並べる。
- ④転がしながら全面をこんがり焼き、混ぜ合わせたAを回し入れて全体に絡めたら完成。

- 新ショウガの甘酢漬けレシピ
- 材料(作りやすい分量)
- 新ショウガ500g、調味料(米酢300cc、砂糖80g、塩大さじ1)
- ①新ショウガは汚れと皮を取り除き、赤い茎は切り落とす。軽く水で洗い、繊維に対して直角に2mmほどの厚さに切る。
- ②①をざるに広げ、熱湯を回しかける。粗熱が取れたらペーパータオルで水気をしっかり拭き取り、表面が乾くまで置く。
- ③鍋に調味料を入れて中火で沸騰させ、砂糖を溶かしながらあくを取る。
- ④1杯ほど入る耐熱の保存瓶に新ショウガを入れ、熱々の調味料を注ぐ。冷めたらふたをして冷蔵庫で冷やす。

JA農機ハウスローン

軽トラックの購入にも! 農業機械の購入にも!
ハウスの建設にも! 農業用倉庫の設置にも!

JAグループ神奈川応援プログラム

利子補給事業

JAが取り扱う全ての農業資金(公庫資金を除く)について、最大1.0%(最長10年)の利子補給を行っています。
補給率 1.0%
最長10年 最大

保証料助成事業

JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いたします。
実質保証料 0円

詳しくは各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

休日ローン相談会

ご来場の方に記念品を進呈

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでもお気軽にご相談ください。

10月21日(土)

午前9時～午後4時 JAはだの本所

待ち時間短縮や混雑緩和のため、事前予約をお願いいたします

融資課 ☎0120-954-093 ホームページ「休日ローン相談会」から検索!

またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。 JAはだの 検索

※感染症などの状況により、中止になる可能性があります。開催状況はJAはだのホームページをご確認ください。

ソバ教室で交流7年

児童にそば打ち指導も



ソバの種をまく和田委員長

上支所運営委員会は「そば作り教室」を開き、地域の活性化につなげている。今年で7年目を迎えた教室は、地域で参加者を募ってソバを栽培し、収穫したソバを使って小学校などでそば打ち教室を開催。農地の有効利用や世代間の交流など幅広い効果をもたらし、地域を活性化している。

秋の味覚を掘り取ろう

地元農家が受け入れに協力



落花生を収穫する親子

はだの都市農業支援センターは9日、堀山下で落花生とサツマイモの収穫体験会を開いた。市内外から16組44人が参加し、秋の味覚を掘り取る方法を満喫した。体験を受け入れたのは、10年以上から協力している高橋正宏さん。落花生は手で土をかき分け、次々と収穫。サツマイモは引き抜いて定植。高橋さんは「長く受け入れて栽培を続けているが、楽しんでいくうちに収穫している様子を見ることができ、やりがいを感じている。今後も多くの人に参加してもらいたい。秦野の農産物は、高橋はおいしいと感じてもらえたら」と話した。

高橋さんは「長く受け入れて栽培を続けているが、楽しんでいくうちに収穫している様子を見ることができ、やりがいを感じている。今後も多くの人に参加してもらいたい。秦野の農産物は、高橋はおいしいと感じてもらえたら」と話した。

運営委員会が活性化

野菜エピソードにほっこり

北支所運営委員会が製作した、野菜栽培のエピソードを紹介するポスターが話題を集めている。委員の桐山容子さんが、女性部北支部の仲間を声をかけて製作。来店者に委員会の活動をPRしている。

製作のきっかけは、委員会が4月に開いた農業学習会だ。参加者は野菜苗を生産する農家を訪ねて栽培方法を学び、苗を5ポット持ち帰った。桐山さんは、苗の栽培や収穫後のエピソードを集めて、活動の紹介につなげ

ポスターで活動PR

ようと考案。学習会に参加した部員の協力を得て、横造紙にまとめた。ポスターは、部員12人を名前付きで紹介している。収穫した野菜や料理の写真と一緒に「45年前お嫁に来た時におばあちゃんが作ってくれた料理です」などのエピソードも掲載し、見た人の心を和ませている。桐山さんは「支所運営委員会のPRだけでなく、部員の食と農に関わる体験にもつなげることができた」と話した。

接近! おじまは村

上大槻で東花園を営む小島実さんは、代々続く農家に生まれた。家業を継ぐと大学の園芸学部を卒業し、市場で修業した後、オランダに留学。現地の花農家で経験を積み、帰国後に25歳で就農した。現在は、ハウスと畑合わせて43畝で7品目の花を栽培。じばさん

丁寧な作業で良花届ける



上大槻の 小島実さん(58)

別時も水を切らず、花にできるだけストレスを与えないように気を配る。徹底した品質管理が、市場や花屋からの信頼にもつながっている。昨年からは息子の慈音さんが作業を手伝うようになり、技術を伝えていく。 「農業を継ごうという気持ちを持っていてくれる。うれしさ半分、心配が半分」と話す。今後について「市場や消費者から信頼される生産者でありたい。これからも丁寧な作業を心がけ、前年よりも良い花を作る努力をしていく」と力を込めた。

来店者にポスターを紹介する桐山さん



InstagramのJAはだの公式アカウントは、この他にも季節の農産物やレシピ、じばさんずの情報を発信しているよ。ぜひフォローやいいねをしてね。

組合員と共に より良いJAを目指して

～秋の座談会にご出席ください～

10月2日(月)から10月13日(金) 市内78会場で開催

組合員の皆さまの意見や要望をJA運営に反映し、組合員の参加による協同組合運動を進めるため、秋の座談会を10月2日(月)から10月13日(金)まで市内78会場で開きます。

2023年度の上半期活動報告や、地域の実態に沿った内容などについて話し合います。

また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひお聞かせください。組合員の皆さまのご出席をお願いいたします。

前回に引き続き、書面・FAX・メールでもご意見を受け付けます。

●受け付け方法:

- ①任意の紙に必須項目(住所・氏名・連絡先)と意見要望を記入し、各支所・支店、本所(組織教育課)に直接提出、または組織教育課までFAX(84-1856)で送信してください。※専用の紙は配布していませんので、ご注意ください。
- ②QRコードを読み取るか、専用メールアドレス(soshiki-iken@hdn.kn-ja.or.jp)宛てにメールを送信してください。

●期間:10月2日(月)から10月13日(金)まで

※回答に必要となるため、必ず住所や氏名の記入・入力をお願いいたします。



発行
 秦野市
 農業協同組合
 (神奈川県)
 〒257-0015
 秦野市平沢477
 電話 0463(81)7711(代)
 発行責任者 小島 敏雄
 印刷所 ㈱JA情報サービス



上半期の主な軌跡

6月 June

●女性部が取り組む「自給率向上!大豆プロジェクト」の今年度の活動がスタートしました。部員37人が参加し、上大槻の約15aの畑に3kgの大豆「津久井在来」をまきました。



●上地区の生産組合長や農業委員らで組織する上地区農園ハイク実行委員会が、4年ぶりに「上地区農園ハイク」を開きました。県内外から118組288人が訪れ、開催を心待ちにしていた多くの人が、ハイキングや収穫体験を楽しみました=写真。

3月 March

●本所で第11回地域農業振興大会を開きました。4年ぶりの開催となり、生産組合長や業種別部会の部会員、直売所出荷者ら126人が出席。秦野市の農業活性化に一丸となって取り組むことを誓い合いました。



●本所で特殊詐欺被害防止のための窓口対応を訓練しました。詐欺被害を未然に防ごうと、秦野警察署生活安全課と連携して実施し、各支所・支店の信用窓口担当者8人が、窓口での適切な対応方法について学びました=写真。

7月 July

●本所敷地内で夏まつりを開催しました。会場には、女性部・青年部・支所の模擬店が並んだ他、やぐらを囲んで多くの女性部員がおそろいの浴衣を着て盆踊りを踊りました=写真。



●JAはだのの理事や組織代表者などで構成する農政対策委員会が、農林業施策・予算要請書を提出しました。委員長の宮永均組合長ら6人が秦野市役所を訪れ、高橋昌和市長と小菅基司市議会議長に「農家の声」を届けました。

4月 April

●青年部が弘法山に種をまいたネモフィラの花畑が、見頃を迎えました。「花いっぱい運動」の一環として、今年で2年目になる取り組み。地域情報誌などでも取り上げられ、市内外から訪れる多くの人から人気を集めました。



●市内81会場で春の座談会を開きました。組合員の声を今後のJA運営に反映させることが目的で、対面での開催は4年ぶり。出席した940人から、629件の意見や要望が寄せられました=写真。

8月 August

●第60回創立記念式を開催しました。組合員や役員計80人が出席し、創立から60年の歩み確かめるとともに、JAのさらなる発展を誓いました。式典では、組合員1人と2団体を表彰した他、都市農業の現状をテーマにした記念講演を4年ぶりに実施しました=写真。



●秦野市農業経営士会は、市内在住の小学4～6年生を対象に農業体験学習を開きました。今年は8人が、農業経営士の指導で農作業に汗を流しました。

5月 May

●第60回通常総代会をクアーズテック秦野カルチャーホール大ホールで開きました。今後のJA運営に関する最高意思決定の場で、多くの総代が出席し、上程した6議案全てが可決されました=写真。



●協同組合運動の地域リーダーの育成を目的に、2023年度の協同組合講座がスタートしました。組合員基礎講座、組合員講座、専修講座を開き、今年度は合計59人が受講しています。

2023年度上半期JAはだの自己改革工程表実績

農業者の所得増大・農業生産の拡大

●はだのじばさんずの取扱高維持

2023年度目標	7億円
上半期実績	3億5千万円
前年同期実績	3億4千万円

上半期の取り扱い実績は、計画通りに推移しました。下半期も、出荷者の協力を得て、委託品7億円の取り扱いを目指します。

●生産者買取の拡大

2023年度目標	4,100万円
上半期実績	2,146万円
前年同期実績	1,627万円

量販店など販売先の他、中学校給食用として青果物を買取り、上半期の取り扱い実績は、計画通りに推移しました。

●仕入れ強化による生産資材の価格低減

2023年度目標	7品目
上半期実績	7品目
前年同期実績	5品目

農業に加え、新たにマルチの価格低減に取り組みました。

- ラウンドアップ5.5ℓ
- フォース粒剤3kg
- ブリグロックS5ℓ
- バスアミド10kg
- 黒マルチ95
- 有孔マルチ9515・9230
- 生分解性マルチ

地域の活性化

●ふるさとの味伝承活動の展開

2023年度目標	4回(40人)
上半期実績	0回(0人)
前年同期実績	1回(2人)

現在幼稚園など3園から依頼が来ています。下半期4回開催を目指し、伝承活動のPRに努めていきます。

●フードドライブ活動の実施

2023年度目標	2回(8カ所)
上半期実績	1回(8カ所)
前年同期実績	1回(8カ所)

8月に1回(8カ所)実施し、154点の食品が集まりました。下半期は12月に実施予定です。

対話・意思反映

春の座談会を4月7日(金)から4月19日(水)まで、市内81会場で4年ぶりに開催しました。2022年度の事業報告や第四次地域農業振興計画、金融店舗再編などについて説明しました。10日間で940人の方に座談会へ出席いただき、629件の意見・要望・質問などが寄せられました。主な意見とその回答は5月の組合員訪問日に配布した「春の座談会報告号」に掲載し、組合員へ周知しました。

支所・支店における金融事業の再編について —第2次再編の日程—

東支所・北支所 ⇨ 2024年3月1日(金)から渉外・融資業務などを集約

上支所 ⇨ 2024年2月22日(木)で信用共済窓口終了

2024年度以降の支所・支店における購買事業の再構築について(案)

自己改革を実践するに当たり、第六次中期経営計画の重点実施事項に事業再構築の実践があります。その中で経済事業の収支改善を基本目標に位置付けています。これまでに、仕入れ強化によるコスト削減や環境負荷に配慮した生産支援による利用者拡大、組合員のニーズに合った生活物資の取り扱い、物流

の効率化などに取り組んでいますが、さらなる改革が急務となっています。つきましては、2024年度に取り組む金融店舗再編に併せて、下記の内容で支所・支店における購買事業の再編に取り組むことにより、持続可能な経営基盤の確立と強化を図ってまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

1 再編内容

2024年2月末をもって、大根支所を除く、支所・支店における給油所以外の生産資材および生活物資の購買品の取り扱いを廃止し(東支所購買店舗含む)、本所(JAグリーンはだの、はだのじばさんず、経済課)を拠点とします。

2 今後の対応

- ① 肥料 JAグリーンはだの、大根支所で取り扱います。配達は従来通りです。
- ② 農薬 JAグリーンはだの、大根支所で取り扱います。●予約注文については自己取り(本所)と、新たに配達を開始します。配達については、別途配送料を設定します。
- ③ 種子 JAグリーンはだの、はだのじばさんず、大根支所で取り扱います。●チラシ注文書(春まき・秋まき)による受注、業者から直送します。
- ④ 野菜苗 支所受け取りは、口座決済だけで現金は取り扱いしません(大根支所除く)。
- ⑤ その他生産資材 JAグリーンはだの、農業機械センター、大根支所で取り扱います。
- ⑥ 主食・生活物資 はだのじばさんず、JAグリーンはだの、経済課、大根支所で取り扱います。
- ⑦ 新たな取り組み ●インターネットによる生産資材・生活物資の注文取り扱いを開始する予定です。●生活物資は、支所・支店で全農カタログシステムを使って注文できます(2024年3月から)。品物は、支所・支店の窓口で受け渡しする他、2,000円以上の利用でご自宅へ配送もできます。なお、肥料・農薬についてはシステム開発中のため、完成次第別途検討します。●JAグリーンはだのでクレジットカード決済を開始します。ただし、レジでの精算時に限ります(10月から)。



豊かな社会を協同の力で!

2023年度上半期の状況

JAはだののすがた

●2023年8月31日現在 ●かっこ内は前年同期実績
●数字は単位未満切り捨て ●この特集号の数値は速報値です

11 万に備えての共済

●安心と満足をお届けする「3Q活動」の実施

長期共済新契約高

153億7千万円(170億3千万円)

長期共済保有高

3,958億6千万円(4,061億7千万円)

1年間に支払った事故共済金額

794件 8億2千万円
(891件 6億9千万円)

生命	505件	6億5千万円	(580件 5億5千万円)
建物	51件	9千万円	(58件 1千万円)
自動車	236件	7千万円	(252件 1億2千万円)
その他	2件	(1件)	

12 活動のみのり

当期剰余金

9千万円(2億円)



13 株協同コンサルとはだの

- 資産保全と土地活用の支援
- 相続相談を随時受け付け

8 多様化する葬儀形態や規模に対応

●一般葬や家族葬、一日葬に対応した葬儀施行

JAセレモニーホールはだの取扱高

127件 1億8千万円
(101件 1億4千万円)

9 便利で安心 JAバンク

- 資産活用や相続にかかる不安・悩みに対する資産相談
- 投資信託による資産形成サポート
- 年金相談会や相続遺言・資産相談セミナーの開催
- 特殊詐欺被害の未然防止に向けた取り組み

貯金残高

2,383億9千万円(2,385億6千万円)

10 農業・事業・生活資金などの融資

- 営農・経済部門と連携した農業振興に必要な資金対応
(農業資金の新規取り扱い 15件 1,543万円)
- 資産相談センター・(株)協同コンサルとはだのと連携した事業資金の提案
- 住宅・マイカー・教育などの資金対応

貸出残高

416億7千万円(422億4千万円)

6 健康と福祉の取り組み

- 「JA健康寿命100歳プロジェクト」の展開
- 人間ドックや各種健康診断受診の呼びかけ
- グラウンドゴルフ大会・ターゲットパードゴルフ大会を開催
- 健康福祉大会を開催し「腸活で健活」をテーマに講演を実施

▶長寿記念品の贈呈者数

68人(69人)

▶人間ドック受診者数

250人(251人)

7 生産資材・生活物資の安定供給

- 肥料(秋肥)および電牧器関連資材設置費用の助成を実施
- 県産飲料の他、農作業負担軽減を目的とした空調服の普及

全体の供給高

12億5千万円(12億5千万円)

生産資材	5億1千万円	(5億5千万円)
生活物資	7億3千万円	(7億円)

4 営農事業の取り組み

- 持続可能な地域農業の確立
 - 部会担当者や販売TAC担当者による面談・対話を通じた提案・相談活動の充実
 - 関係機関と連携した多様な担い手の確保
- はだの都市農業支援センターの取り組み
 - 観光農業振興の充実に向けた「はだの農業満喫CLUB」への加入促進、農園ハイクや収穫体験の実施
 - 「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用した補助を実施(複合防護柵の設置)
 - 農作業安全対策に関するアンケート調査を実施(調査対象配布数2,441枚、回収枚数751枚、回収率31%)



5 安全・安心な農産物の供給

- 地産地消を中心とした販売力の強化

全体の取扱高

9億2千万円(9億1千万円)

はだのじばさんずの利用状況

利用者総数	26万3千人	(25万9千人)
うちSun's Gelato	1万6千人	(1万3千人)
取扱高	5億2千万円	(5億円)
うちSun's Gelato	1,150万円	(953万円)

1 みんなの仲間

組合員数 14,245人(14,397人)

内 正組合員数	2,710人	(2,790人)
内 准組合員数	11,535人	(11,607人)

組合員戸数 11,897戸(11,966戸)

内 正組合員戸数	2,154戸	(2,196戸)
内 准組合員戸数	9,743戸	(9,770戸)

2 資本の状況

資本の合計

161億円(159億9千万円)

内 出資金	16億3千万円	(16億5千万円)
内 準備金・積立金他	144億6千万円	(143億4千万円)

3 組織活動・教育広報の充実

- 農政活動の取り組みとして市長らに農林業施策・予算要請書を提出
- 協同組合講座を開講し「脱炭素」や「フードロス」など社会情勢に合わせたカリキュラムを導入
- 支所運営委員会が地域の特色を生かした組合員参加型の協同活動を展開
- ホームページやインスタグラムを活用した情報の発信

Instagram配信回数

62回